

2-4 課題の設定

概況、都市計画、市民アンケート、上位・関連計画から導かれる課題を整理します。

	現況	課題
概況	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化が進んでいる。 ・人口密度が低下し、40人/haを下回る箇所が多くなる。 ・生産年齢人口の減少により就業人口が減少する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に対応したまちづくりが求められる。 ・就業人口が減少することで、産業の停滞が懸念される。
	<ul style="list-style-type: none"> ・農家戸数が減少している。 ・工業系の事業所数、従業員数は、減少傾向にある。 ・商業系の事業所数、従業員数は、減少傾向にある。 ・観光入込客数は、平成18年以降減少傾向にあったが、近年、増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業（農業）の活性化、農地の維持、後継者対策などが求められる。 ・企業誘致を継続するなど、雇用・勤労環境の充実や工業の活性化が求められる。 ・魅力ある商店街づくり、買い物の合間に利用できる場所や飲食業の充実など商業の活性化等の取り組みが求められる。 ・観光客の増加につながる施策の取り組み・展開が期待される。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地価が下落している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な市街地整備、地域づくりが求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒区域が34箇所存在し、石狩川・空知川の浸水想定区域が広く分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード・ソフトの両面に対応する強靱な都市づくりが求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の老朽化が進行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適正配置、維持管理を進めることが求められる。
都市計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域地区（都市計画区域、用途地域、準防火地域、特別用途地区、高度利用地区、白地地域）に変更はない。 ・都市施設（都市計画道路）は、未改良区間が存在し、都市施設（下水道）は普及率が100%になっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域地区の見直しの検討、都市施設の整備方針について検討することが求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市施設（都市計画公園・緑地）は、すべて供用済み。 ・一級河川の石狩川が都市計画河川に指定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地、河川（河川改修など）の維持管理が求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画用途地域内では、白地地域の境界部分で低・未利用地が多く存在する。 ・空き家・空き店舗が、市内に多く存在している。 ・生活利便施設は、徒歩圏カバー人口率で7割以上を網羅している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低・未利用地の有効活用について、検討する必要が求められる。 ・今後増えることが想定される空き家・空き店舗対策の検討を行うことが求められる。 ・生活利便施設、拠点施設の維持に向けた取り組みを検討することが求められる。
市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・目標1：コンパクトな市街地を活かした都市づくり、目標3：安全で快適に暮らせる都市づくりは、目標に近づいていないとの意見が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標1・3の取り組みに力を入れることが求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の生活利便施設の利用が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生活を支える生活利便施設の維持が求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の移動手段として、自家用車やオートバイが多くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な道路環境の整備と維持保全が求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の移動手段として、路線バスやタクシー、福祉車両、介護タクシーが重要と考える市民が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても移動可能な仕組みづくりが求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用で力を入れるべき項目として、「空き店舗や空き家、空き地の解消」、「便利なまちなかに買物・医療・子育てなどの機能を確保」、「企業誘致、新たな雇用の確保」をあげる意見が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意向を踏まえて、市街地全般の土地利用を検討することが求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・緑について行政に望むこととして、「市民を対象とした環境教育や農業体験の場の充実」、「景観の魅力を向上させるため、緑の管理を強化」をあげる意見が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育、農業体験のきっかけづくりや景観の維持管理・向上が求められる。
上位・関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的かつ計画的な土地利用に努める。（砂川市第7期総合計画） ・安全・安心に暮らすことができる生活環境の保全、総合的な空き家等対策を推進。（砂川市空き家等対策計画） ・移住定住促進とまちなかの活力を生み出す住まい・住環境づくり、誰もが安全・安心に暮らせる住まい・住環境づくり、環境との共生に配慮した住まい・住環境づくり。（砂川市住生活基本計画） ・公共施設総量（総床面積）の最適化、長寿命化、民間活力の有効活用。（砂川市公共施設等総合管理計画） ・中学校2校を1校に統合する。中学校1校と小学校5校を統合し、義務教育学校とする。（砂川市立小中学校適正配置基本計画） 	

都市計画マスタープランが担う課題（目指すべき方向性）、現行計画の目標と見直しの視点を整理します。

